

## ピンポンだっこ

「じいじ、だっこー」

と、せがむ3歳の娘は、いつも父に容赦がない。

今日も、父に抱っこさせて外のチャイムを鳴らし、

父ひとりを裏の勝手口に走らせ、家の中から玄関を開けさせて、

「いらっしやーい」と出迎えてもらう。

そんな謎の遊びを延々と繰り返しているのだ。

一緒に暮らしている父は、私が二人目を妊娠してから、

いままで以上に娘の相手をしてくれるようになり、

悪いとは思いつつも、甘えさせてもらっている。

遊び疲れて、ついに限界を迎えた父が畳の上で横になっていると、

娘が重そうに枕を持ってきて、強引に父の頭の下へと押し込んだ。

そして、寝かしつけるようにピンポンと背中を叩き始めた。

じいじの優しさは、この子にもちゃんと伝わっていたんだ。

そう思ったら、すっと気持ちが軽くなった。

来月、じいじの遊び相手は、もう一人増える。

家族を思う、そのそばに。

ヘーベルハウスの二世帯住宅



考えよう。答はある。

ヘーベルハウス